

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 島根県 】

学校名【 邑智郡邑南町立日貫小学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	全校児童12名 3クラス (1年1名 3年3名・4年3名 5年1名・6年4名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育、PTA 親子活動) ② 行事名 (Enjoy sports Hinui)
4 目標 (ねらい)	1. スポーツにおける二極化を避け、かつ柔軟性の向上 2. 「する」だけでなく「みる」「ささえる」などスポーツを通じた豊かな生活の基盤づくり 3. スポーツを通じた人権意識の向上
5 取組内容	<p>1. 「Enjoy sports Hinui 親子でポッチャ」</p> <p>・藤田英二氏（山口県障害者スポーツ協会会長）の講演を児童・保護者・職員で聞いたあと、全員でポッチャを体験した。「パラ・スポーツは誰でも楽しむことができる」とお話しただき、工夫すれば障がいの有無にかかわらず、一緒に楽しむことができる実感できた。</p>  <p>2. 「Enjoy sports Hinui ダンスエアロ」</p> <p>・岩根礼子氏（いそたけ保育園施設長）にダンスエアロを指導していただく。普段体験できない激しいダンスであったが、子どもたちは音楽に合わせて、体を動かすことを楽しむことができた。</p> 

	<p>3. 「Enjoy sports Hinui レクスポ」 ・小笠原美穂子氏にレクリエーションスポーツを通じた運動を指導していただく。「同じチームの友達を応援する姿が素晴らしい」とほめていただくことで、「する」だけでなく「見る」ことの大切さを学んだ。</p> <p>4. 「Enjoy sports Hinui 図書館でオリパラ」 ・本事業で購入したスポーツ関連書籍を中心に、図書館司書が「オリパラコーナー」を設置。日頃からオリパラに触れることができる環境をつくった。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. パラリンピックの存在を知らない児童が見られたが、体験や書籍を通じて、様々なパラスポーツがあることを知り、理解が深まった。 2. パラスポーツは、参加者が工夫することで誰でも楽しめるスポーツであることが分かった。パラスポーツは障がいのある人のためのスポーツ、という意識がなくなってきた。 3. 運動が苦手な児童も、遊びの要素を含んだレクリエーションスポーツやダンスなら楽しんで取り組む姿が見られた。これをきっかけに、体を動かす楽しさに気づいてくれればと期待している。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 競技スポーツに特化せず、「体を動かすことは楽しい」を主眼に置き、普段経験できないダンスエアロやレクリエーションスポーツをとおして、運動が不得意な子どもたちにも取り組みやすいように工夫した。 2. ボッチャをPTA活動の一環として親子で体験することで、パラスポーツは障がいのある人に特化したものでなく、誰でも楽しむことができることが理解できるよう工夫した。 3. スポーツ関連の書籍を多めに購入し、図書館にオリパラコーナーを設置した。「よむ」スポーツとし、体を動かすことだけでなく、読書からもスポーツの素晴らしさがわかるよう工夫した。
<p>8主な課題等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中山間地の僻地校であるため、様々なスポーツに触れる機会が限られている。そのため、まだまだ生活の中にスポーツの話題が上がるのが少ないので、学校活動全体で興味を持たせる必要がある。 2. 小規模校単独では限界があるので、今後、町教育委員会と連携しながら、スポーツをしたいという意欲や人権意識の向上に努める必要がある。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 校庭や体育館だけでなく、学校全体でスポーツの意欲が高まるような環境整備に努めたい。 2. 国語、社会、道徳等の教材の中でオリパラと関連付けて学習できるものがあれば、積極的に結びつけ、児童の創造性を膨らませていきたい。